

# 人口減少対策

## 移住へ向けた支援やきっかけづくり

移住希望者が本市に魅力を感じ、多くの移住が実現するよう、ポータルサイトや移住フェアでの情報発信、移住相談員等によるきめ細かな移住相談、お試し暮らし滞在など移住へ向けた支援に取り組んでいます。

仕事面では、高知西南中核工業団地や宿毛湾港工業流通団地の製造業のほか、事務系企業など幅広い分野の企業誘致に取り組み、さらなる雇用の場の確保や地元企業と高校との連携、若年層の市外流出防止・人材確保対策に取り組んでいます。

また、豊かな自然を生かした観光やスポーツ、宿毛市の暮らしを体験するツアーなどを通じた「交流人口」「関係人口」を拡大し、将来的な移住にもつながるきっかけづくりに取り組んでいます。



# 子育て支援

## 未来を担う子どもたちの成長を全面サポート

子どもたちは本市の宝物であり、健やかに未来に羽ばたけるよう、その育ちを社会全体で支えるため、「宿毛市子ども・子育て支援事業計画」に基づいて、地域の特性や、複雑・多様化するニーズに沿った、子どもを産み育てやすい環境づくり、質の高い子ども・子育て支援事業の推進に努めています。

そのため、「子育て世代包括支援センター」や「子ども家庭総合支援拠点」、「地域子育て支援センター」を中心に、保育園や学校など関係機関の連携をより強化して、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援の充実に取り組んでいます。



# 高齢化社会対策

## 健康で生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり

高齢者が健康で自立した生活が送れるよう介護予防に努めるとともに、介護が必要となってもそれぞれの地域において医療や介護、生活支援などのケア体制を連携させる地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。

「あったかふれあいセンター事業」において、集いの場を提供するほか、各地域において交流を深める取り組みとして、調理や食事を通じて集いの活動を行う「地域元気クラブ」や、介護予防を目的とした「いきいき百歳体操」を行う自主グループを支援しています。また、毎年多くの生徒が学びに訪れる「生きがい大学さくら学園」を開催し、高齢者の生きがいづくりの場を提供します。

生活支援は、シルバー人材センターによる日常生活支援総合事業「訪問型サービスA」の実施により、生活の支援を行っていくとともに、宿毛市が平成6年より実施している配食サービス、「食の自立支援事業」においてお弁当の配達を行うなど、地域で安心して暮らしを営める体制づくりに努めています。



# 文化芸術とスポーツ振興

## 生涯スポーツの振興と交流人口の拡大

生きがいと潤いのある人生を過ごすことができるよう、「宿毛文教センター」を拠点として、地域の皆様が気軽に集える機会を提供し、いつでも、どこでも、誰でもが、自発的に学習できる機会を充実させることによって、地域全体の教育力の向上を図るとともに、一人ひとりの人権が尊重され、子どもたちが健やかに育つ豊かで文化的な地域社会づくりに取り組んでいます。

また、市民の健康増進や体力づくりを図ることで、より充実した生活を送ることができるよう、各種スポーツ団体等と協力し、「宿毛市総合運動公園」を拠点として、競技力の向上等を含んだ生涯スポーツの振興に努めるとともに、スポーツ合宿やスポーツ大会を積極的に誘致することで、スポーツを通じた交流人口の拡大に取り組んでいます。



## 自転車を活用したまちづくり計画

宿毛市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたオランダのホストタウンとして登録し、宿毛市のスポーツ活性化に向けて、サイクルイベントによるスポーツの振興、教育文化の向上などに努め、オリンピック・レガシーの創出を目指しています。その中で、自転車競技の盛んな同国の女子自転車代表チームの受け入れや、代表選手らとの交流イベントを実施するなど、かねてより自転車やサイクルスポーツの可能性に着目してきました。

平成31年3月に策定した「宿毛市自転車を活用したまちづくり計画」に基づき、子どもから高齢者までが自転車に触れる機会を増やし、自転車やサイクルスポーツを市民にとって身近なものにしていくとともに、ルール・マナーの徹底や将来的な市民の生活の質の向上を図っていきます。観光客等にとっても、自転車を切り口とした地域の魅力を向上させていくための環境構築を進め、自転車を活用した地域の活性化を推進していきます。



## 宿毛市2040ゼロカーボンシティ宣言

令和3年4月6日、宿毛市は2050年までの国の脱炭素化目標年度を10年間短縮し、2040年までに市内の二酸化炭素実質排出量ゼロを目指す「宿毛市2040ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

この宣言の背景としては、近年、地球温暖化が原因とされる異常気象により、巨大な台風や記録的な集中豪雨が日本各地において頻発化・激甚化していることがあります。本市においても、平成30年7月の豪雨において記録的な大雨により市内各所に甚大な被害が発生し、市民の生命や財産が脅かされました。

このため、地球温暖化の進行による異常気象が、住民の生命や財産の危機、そして自然環境や生態系への悪影響など、人類の生存基盤を根本から揺るがす極めて深刻な事態となっているという認識のもと、地球温暖化対策に早急かつ真摯に取り組む、本市の豊かな自然や生態系を次の代につなげていかなければならないと考え、脱炭素化の目標を10年前倒しした「宿毛市2040ゼロカーボンシティ宣言」に至ったものです。

本市ではこの宣言のもと、2040年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す、脱炭素化を推進していきます。

